

V. 鉄道事故等と再発防止措置

1. 鉄道運転事故・インシデント・輸送障害の発生件数

【事故等報告（鉄道事業法・鉄道事故等報告規則に基づく報告）】

平成 24（2012）年度の事故は 11 件でしたが、全てが線路内立入り等による人身障害事故によるもので、当社の起因で発生したものではありません。また、平成 24（2012）年度は、輸送障害が 4 件発生しました。

		平成 24(2012) 年度	平成 23(2011) 年度	平成 22(2010) 年度
事故	列車衝突事故	0	0	0
	列車脱線事故	0	0	0
	列車火災事故	0	0	0
	踏切障害事故	2 (2)	2 (2)	2 (2)
	道路障害事故	0	0	0
	鉄道人身障害事故	9 (9)	6 (6)	8 (8)
	鉄道物損事故	0	0	0
合計		11	8	10
インシデント		0	1	1
輸送障害		4 [2]	2 [0]	3 [2]

※（ ）数は、線路内立入り等による人身障害事故件数 [内数]

[] 数は、自然災害・第三者行為の件数 [内数]

2. インシデント・輸送障害の内訳

【インシデント報告（鉄道事業法・鉄道事故等報告規則に基づく報告）】

インシデントとは、「鉄道運転事故には至らなかったが、事故が発生するおそれがあると認められる事態」のことです。平成 24（2012）年度の発生はありませんでした。

(件数)

閉そく 違反	信号 違反	信号 冒進	本線 逸走	工事 違反	車両 脱線	施設 障害	車両 障害	危険物 漏えい	その他	計
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【輸送障害の内訳】

輸送障害とは、鉄道による輸送に障害を生じた事態であって、鉄道運転事故（上述の列車衝突事故・列車脱線事故等 7 項目）以外のものをいいます。

	平成 24(2012) 年度	平成 23(2011) 年度	平成 22(2010) 年度
鉄道係員が原因の場合	0	0	0
車両・施設等が原因の場合	2	2	1
鉄道外の場合 (第三者行為、火災等)	2	0	1
自然災害の場合 (水害、風害、冷害等)	0	0	1
総件数	4	2	3

3.主な輸送障害の内容 [平成 24(2012)年度実績]

○輸送障害（動力伝達装置故障）

①発生日時・場所

平成 24(2012)年 5 月 20 日 午前 9 時 55 分頃 神戸高速線・大開駅

②概要

山陽姫路発阪急三宮行き普通車（山陽車両）が、大開駅出発時に動力伝達装置の接点不良により起動不能となり、旅客扱いを中止しました。

③対応

乗務員が、各種機器を点検して再起動を行ったところ復旧し、運転が可能となったため、約 60 分後に車庫へ回送しました。この間、高速神戸駅～東須磨駅間を運休として折り返し運転を実施し、その後もダイヤが乱れたため、約 50 本の列車に運休や遅れ等の影響がありました。

④対策

- ・当該車両の動力伝達装置を交換しました。
- ・同型車両の一斉点検を実施し、異常が無いことを確認しました。

○輸送障害（ブレーキ装置故障）

①発生日時・場所

平成 24(2012)年 10 月 13 日 午前 11 時 2 分頃 本線・住吉駅

②概要

梅田発高速神戸行き普通車が、住吉駅出発時にブレーキ装置の不良により全車両のブレーキが緩まず起動不能となり、旅客扱いを中止しました。

③対応

車両部係員が、車両点検を実施して故障処置を行い、約 50 分後に仮復旧させて車庫へ回送しました。この間、西宮駅～御影駅間を運休として折り返し運転を実施し、その後もダイヤが乱れたため、約 300 本の列車に運休や遅れ等の影響がありました。

④対策

- ・当該車両のブレーキ装置に搭載されているコンデンサの不良を確認し、交換しました。
- ・同形式のブレーキ搭載車両のコンデンサを全て更新しました。